人間の安全保障とガバナンス——中国の場合

2024年10月29日

高原明生

ガバナンスという鍵

- 人間の安全保障に対する脅威の発生システム（田中）
  ①自然災害などを起こす物理的システム
  ②伝染病などをもたらす生命システム
  ③構造的貧困や武力闘争などの原因となる社会的システム

←いずれの問題についてもガバナンスの在り方が大きく影響

ガバナンス＝経済、社会資源を管理する上で権力が行使される際の、その権力の行使のされ方

中国と人間の安全保障、ガバナンス

- 「人間の安全保障」――全面的に受け入れられず

  それを建前にした人道的介入、内政干渉を警戒か

- 「ガバナンス」――「治理」と漢訳され、用語として定着

  主な要素：政府のアカウンタビリティ、透明性、効率、効果、政治参加など――だが解釈に幅があり、一党支配体制の否定に直接結びつかない

中国における人間の安全保障

- 恐怖や欠乏の自由に関する実績は大

  一人当たりGDP：1980 $312 → 2022 $12,720

  平均寿命：1980 64.4歳 → 2021 78.2歳

- 新型コロナ対応の失敗——ガバナンスの硬直化

「ゼロコロナ政策」：頻繁なPCR検査、厳しい行動制限

オミクロン株の流行、人々の不満、急な政策変更→多数死亡

中国の海外事業と人間の安全保障

- 中国の海外進出が途上国の経済発展に寄与
  世界の人間の安全保障に対する中国の貢献は大
- 海外事業の透明性の不足
  現地政府のガバナンスの不全を増幅する場合も

➡今後への期待：透明性とアカウンタビリティの確保